

～ 豊川用水の節水対策開始について ～

豊川流域では、1月から流域で降水量が少ない状態が続いており、河川の流量が減少しています。

豊川用水受益地5地点（牟呂松原頭首工、万場調整池、芦ヶ池調整池、初立池及び駒場池）では、1月から3月までの累計降水量が135mmと平年の261mmに対し約52%と少ないことから、独立行政法人水資源機構が管理する豊川用水水源（宇連ダム、大島ダム、地区内調整池）からは都市用水、農業用水の必要量を河川に補給し続けており、4月11日0時の総貯水量は21,304千m³、約41%となっています。

今後、まとまった降雨がなければ、河川流況の改善がなされず、更に厳しい状況となることが予想されます。

このため、本日（4月11日）開催した独立行政法人水資源機構と豊川用水関係利水者で組織する豊川用水節水対策協議会で、豊川用水の節水対策の実施について、次のとおり決定しました。

豊川用水の節水対策

- ① 節水開始日時：平成31年4月12日（金）午前9時から
- ② 節水率：農業用水5%、水道用水5%、工業用水5%
- ③ 節水対象者：愛知県企業庁、静岡県企業局、豊川総合用水土地改良区
牟呂用水土地改良区、松原用水土地改良区
湖西用水土地改良区

なお、節水対策の決定を受けて、豊川用水総合事業部では、4月12日午前9時に渇水対策本部を設置します。

平成31年4月11日

どくりつぎょうせいほうじんみずしげんきこう

独立行政法人水資源機構 豊川用水総合事業部

発表記者クラブ

豊橋市政記者会

問い合わせ先



独立行政法人水資源機構 豊川用水総合事業部

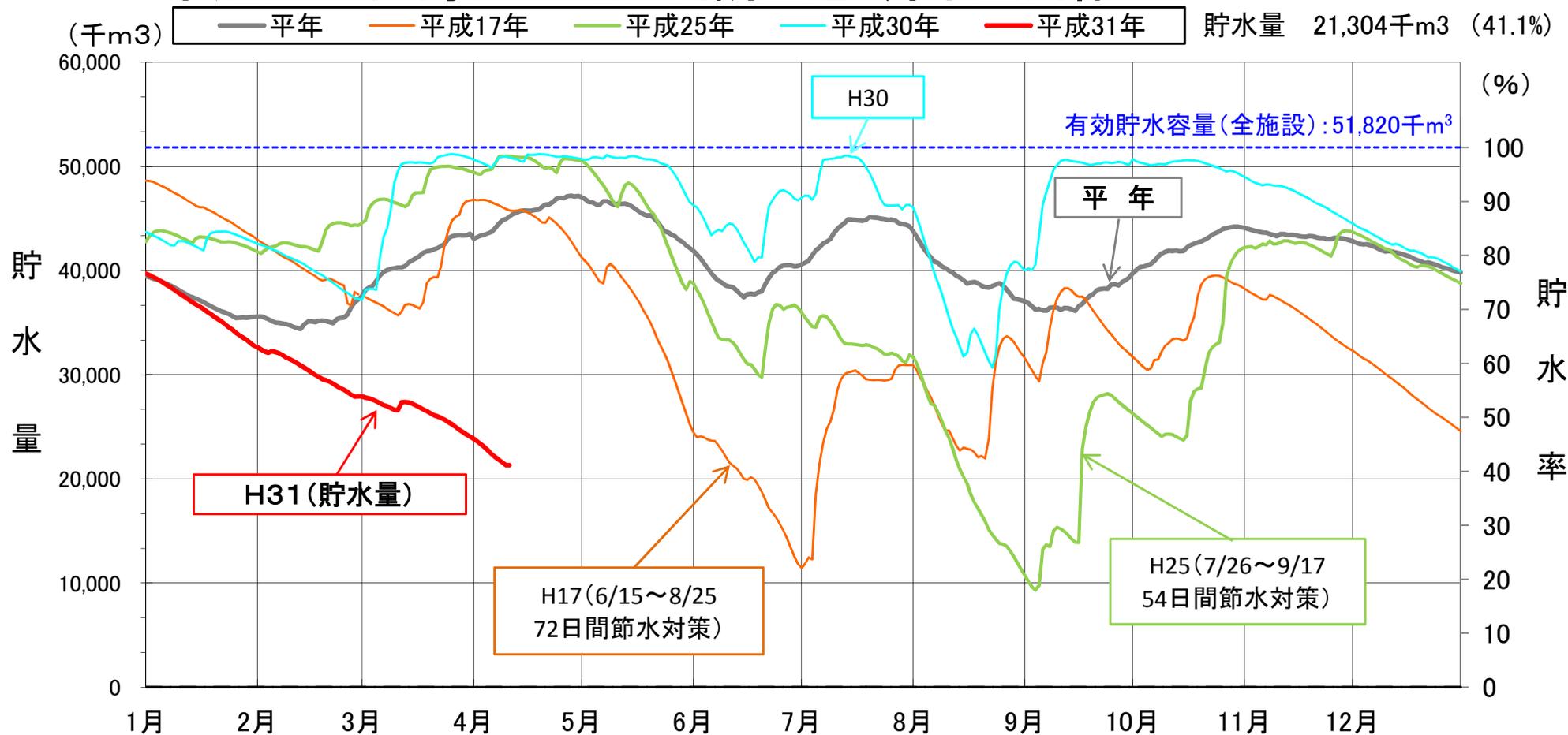
総務課長 大牧（おおまき）、管理課長 大木（おおき）

住 所：愛知県豊橋市今橋町8番地

電 話：0532（54）6501

宇連ダム・大島ダム・地区内調整池 貯水量曲線

平成31年4月11日 0時現在



※平年値は平成14年～平成30年まで17年間の平均値

※平成17年、平成25年は、近年発生した渇水年

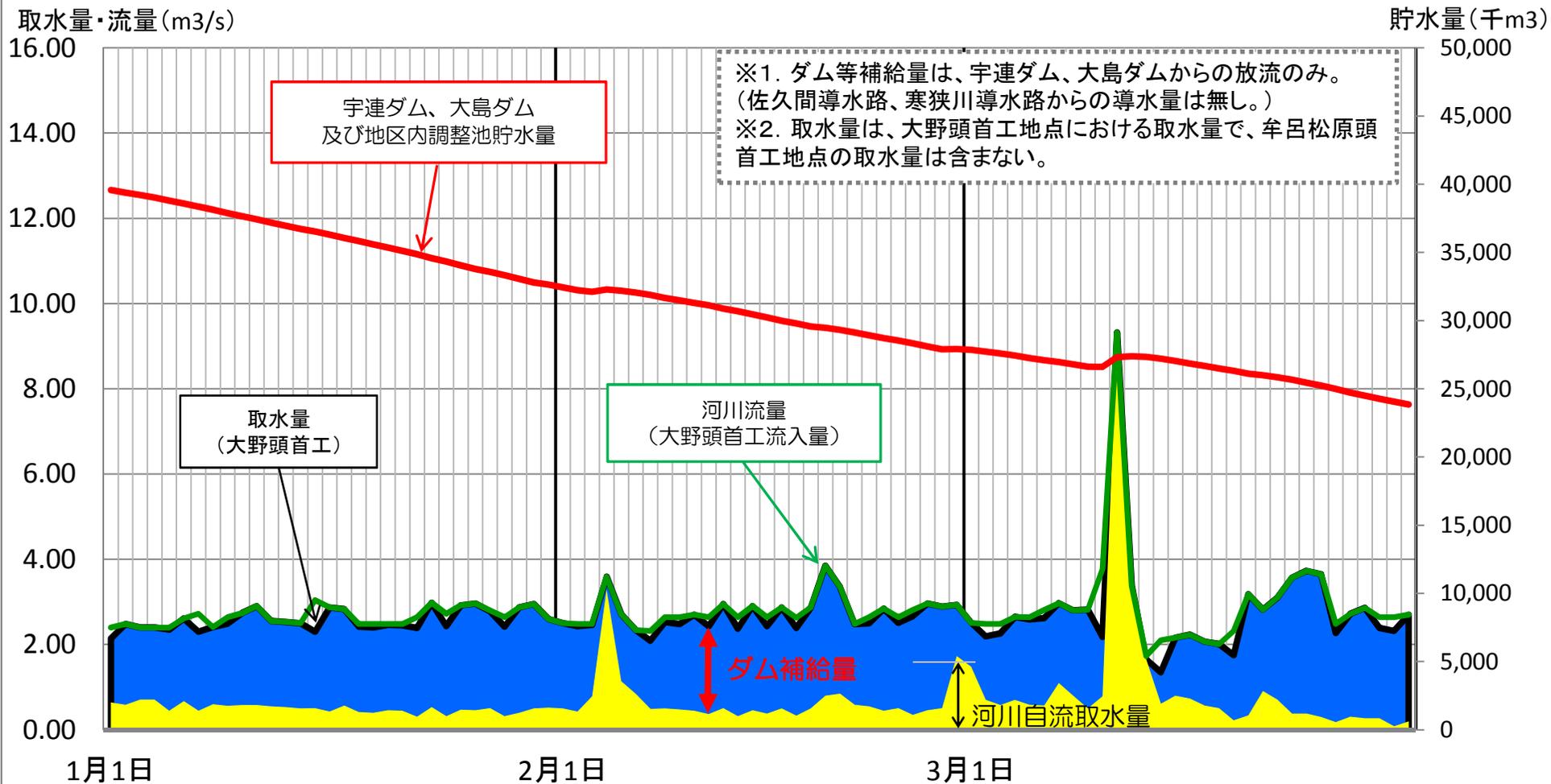
豊川用水受益地内5地点の平均降水量と平成31年降水量(平成31年4月11日0時時点整理)

	月	1月	2月	3月	4月
受益地内5地点 平均 (牟呂松原頭首工、万場調整池、 芦ヶ池調整池、初立池、駒場池)	平年降水量	52mm	81mm	128mm	149mm
	平成31年	14mm	58mm	63mm	30mm
	平年比	27%	71%	49%	20%

※平年降水量は平成14年～平成30年の17年間の平均値

豊川用水取水量(大野頭首工)と豊川用水水源貯水量の推移

参考資料



宇連ダムの貯水池状況

満水時の宇連ダム貯水池



平成30年5月18日撮影
貯水量 28,053千m³
貯水率 98.7%

現在の宇連ダム貯水池



平成31年4月11日撮影
貯水量 6,479千m³
貯水率 22.8%

大島ダムの貯水池状況

満水時の大島ダム貯水池



平成29年7月14日撮影
貯水量 11,300千m³
貯水率 100%

現在の大島ダム貯水池



平成31年4月11日撮影
貯水量 9,348千m³
貯水率 82.7%